

**領 収 書**

至文堂  
昭和 28年 4月 9日

本郷淳一様

¥35,100-

上記の金額正に領収致しました  
但し本郷通信印刷代

総合印刷・印刷紙器・写真製版

**豊文堂印刷紙工株式会社**

本 社 栃木県佐野市栄町3-1 ☎0283-1470代

**領 収 書**

至文堂  
昭和 28年 7月 14日

本郷淳一様

¥35,100-

上記の金額正に領収致しました  
但し本郷通信印刷代

総合印刷・印刷紙器・写真製版

**豊文堂印刷紙工株式会社**

本 社 栃木県佐野市栄町3-1 ☎0283-1470代

※金額や発行元などが、枠内に収まるよう、また重ならないように添付してください。

## 領 収 書

平成28年8月4日

本郷 淳一 議員

金額  
(消費税込)

910円

第1回佐野市議会議会報告会費用分担金として、上記の金額を領収しました。  
(平成28年5月15日報告会開催)

佐野市議会報告会運営委員長

飯田 昌弘



## 領 収 証

本郷 じゅんいち 様

平成28年11月4日

¥ 35,100.-

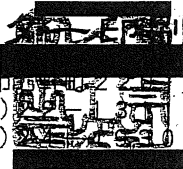
但し本郷通信印刷代  
上記の金額正に領収いたしました

現金	
小切手	
約手	
相殺	

収 入  
印 紙

有限会社 **スズキ印刷社**

栃木県佐野市  
TEL (0283)  
FAX (0283)



※金額や発行元などが、枠内に収まるよう、また重ならないように添付してください。

## (ご挨拶)

皆様には日頃より、温かい御支援を頂き心より御礼申し上げます。平成28年度の一般会計予算は、465億5千万円で合併後3番目の予算規模。内容は佐野市まち・ひと・しごと創生戦略など、人口減少の克服に挑戦するとともに、基礎的自治体に必要な施設の整備と長寿命化を進めるための編成となりました。今後とも皆様からの多くのご意見・ご要望をお待ちしております。



## 一般質問



本郷淳一 議員

平成28年第1回定例会 一般質問

## 空き家管理代行で協定

■空き家対策  
市は2016年度、都市建設部内に「空き家対策室」を新設。「空き家バンク」創設など各種施策を進める。民間と協働の空き家対策として市は現在、市シルバー人材センターと空家の管理代行に関する協定、市建設業協会と老朽空き家の取り壊しに関する協定の締結に向け協議している。五十畑正夫行政経営部長は「いずれも4月上旬までに締結したい」と答弁した。本郷氏が質問した。

新聞記事

2016年(平成28年)3月5日(土曜日)

下野新聞

## (主な質問内容)

### 1. 空き家対策について

#### (1) 空き家対策の現状と計画の策定

- ① 空き家の現状
- ② 空き家対策の進捗状況
- ③ 空き家対策計画の策定

#### (2) 空き家の危険回避

- ① 税の減免処置と解体費補助制度の創設
- ② 空き家管理代行業務

#### (3) 空き家の活用

- ① 空き家バンク
- ② 空き家コンバージョン事業
- ③ 空き家活用の支援策

### 2. クリケットのまちづくりについて

#### (1) クリケットのまちづくりビジョン

#### (2) クリケットのまちづくり推進

- ① 訪英団の成果と今後の取り組み
- ② グラウンド及び付帯設備の整備
- ③ 小学校でのクリケットの授業

## 《空き家対策》

▶ 担当部門を中心に官民一丸となって迅速に！

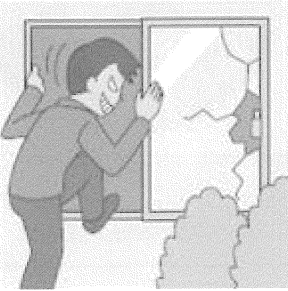


### 【空き家対策の現状と計画の策定】

- ・町会の調査結果は、空き家の総数は約2,250棟、そのうち危険を伴う空き家は約500棟。
- ・危険空き家は、適正管理をお願いし、その後助言や指導等、法に基づいた措置を進める。
- ・新年度から空き家対策室を新設し、空き家に関する窓口の一元化を図る。
- ・今後、総合計画への位置づけや空き家等対策計画を策定に向け取り組む。

### 【空き家の危険回避】

- ・税の減免制度と解体費補助制度の創設は、計画に盛り込むよう検討していきたい。
- ・空き家管理代行業務については、市シルバー人材センターと、老朽空き家の取り壊しについては、佐野市建設業協会等と、協定の締結に向けて協議を勧めている。



### 【空き家の活用】

- ・空き家バンクは、できるだけ早い時期に創設し、ホームページを立ち上げ、民間関係団体とも十分連携しながら、空き家情報を効果的に発信できる体制を整備する。
- ・空き家コンバージョン(変換、転換、交換等の意味)は、町中活性化に大きく貢献するため、佐野まちづくり(株)と連携しながら、事業の実施に向けた調整をしていく。
- ・空き家活用の支援策は、リフォーム資金の利子補給等、補助制度の創設を検討。

## 《クリケットのまちづくり》▶ 他市にない強みでグローバルな市を！

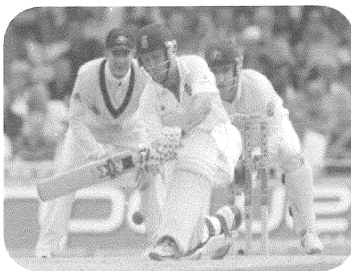


### 【クリケットのまちづくりビジョン】

- ・本市は、クリケットをスポーツツーリズムの軸として、国内及び国際大会の誘致や練習・合宿などで、国内外から多くの人々が本市を訪れ、地域経済の活性化を図ることを期待。

### 【訪英団の成果と今後の取り組み】

- ・マリルボーン・クリケット・クラブからは、クリケットの普及を応援していただく内容の親書を頂いた。
- ・国際クリケット評議会と、イギリスとの友好親善に寄与する内容の協定書を交わした。
- ・マリルボーン・クリケット・クラブから職員を派遣し、グラウンド整備のアドバイスや競技普及を図る。



### 【グラウンド及び付帯設備の整備】

- ・旧田沼高校跡地利用基本方針に示されているように、パビリオンや屋内練習場、観客席などを整備して、国際クリケット場としてふさわしいグラウンドとして整備を進める。

### 【小学校でのクリケットの授業】

- ・小学校の体育授業でクリケットを取り入れる昭島市の事例を研究するとともに、現場の意欲的な取り組みを尊重し、今後もクリケットの市長杯への参加や教育課程外の実施など、各学校の実態に応じたクリケットの取り組みを校長会等で呼びかけて行く。

## 《平成28年度主な事業》

▶ 人口減少対策、施設の整備・長寿命化に重点！



◎:新規事業 ○充実事業

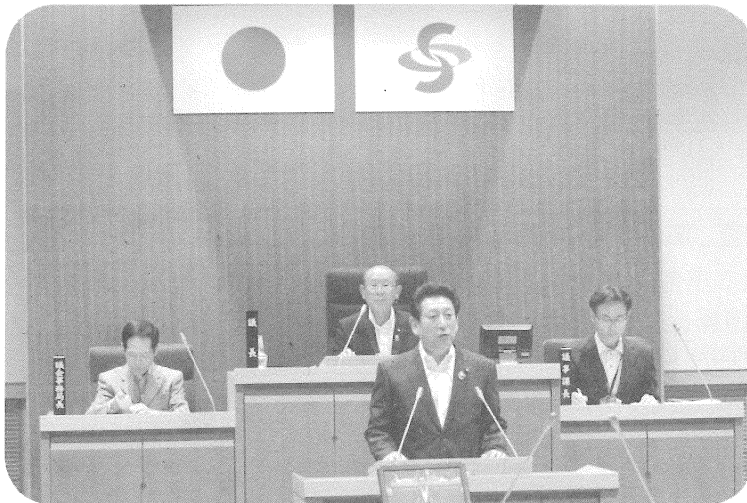
- ◎地域防災士育成事業61万円、◎まちなか婚活推進事業200万円、◎空き家関連事業59万円
- ◎田中正造記念日制定事業220万円、○(仮称)高萩・若宮統合保育園建設事業9,409万円
- ◎民間こどもクラブ利用者負担軽減事業1,080万円、○インランドポート整備事業9,035万円
- ◎女子大学生市内居住推進事業600万円、◎田沼西部地区小中一貫校整備事業1億円
- ◎天明鋳物PR活用推進事業349万円、○国際クリケット場整備事業872万円
- ◎市有施設適正配置計画策定事業499万円、○葛生及び田沼行政センター関連事業5億5,880万円

## ( ご 挨 拶 )

皆様には日頃より、温かい御支援を頂き心より御礼申し上げます。6月の定例会では、「佐野インランドポート」について、条例の制定及び指定管理者の指定と、一般会計補正予算で指定管理料の債務負担行為が上程され可決しました。平成29年度中の共用開始を目指し、その成果が大いに期待されます。今後とも皆様からの多くのご意見・ご要望をお待ちしております。



## 一 般 質 問



総務常任委員会委員長就任挨拶

### 《佐野インランドポート》

(完成予想図)



○場所:佐野市戸奈良町2500番地3(佐野田沼インター産業団地内)

○指定管理者:吉田運送有限会社(茨城県坂東市)

○債務負担行為(平成29年度から10年間の指定管理料):7,363万円

### (主な質問内容)

#### 1. デマンド交通の導入について

- (1) 自家用有償バスの現状
  - ① 公共交通空白地域の現状
  - ② 自家用有償バスの利用状況と収支の推移
- (2) デマンド交通の必要性
  - ① 自家用有償バスとデマンド交通の共存
  - ② 健康寿命の延伸と医療費の削減
  - ③ 地域経済の活性化
- (3) 導入に関する方向性
  - ① 地域やNPO法人等による運用の可能性
  - ② 行政による支援体制の構築
  - ③ 導入の方向性

#### 2. 観光事業の推進について

- (1) 観光事業の方向性
  - ① 入り込み客数の推移と今後の計画
  - ② 宿泊観光の強化と外国人対応の充実
- (2) 今後の具体的な対策
  - ① 観光事業の波及効果とニーズ調査
  - ② 広域連携とモデルコースの充実
  - ③ 観光案内板の充実とコミュニティサイクルの活用

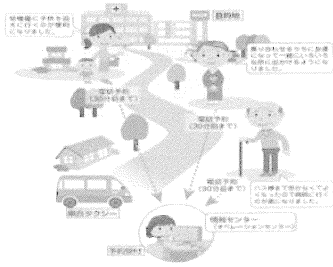
## 《デマンド交通》

いつまでも元気で楽しく暮らせるまちを目指す！



### 【デマンド交通とは】

目的地に直行する通常のタクシーとは異なり、他の人も乗り合って目的地に送迎するサービスです。



### 【公共交通空白地域】

・路線バスが運行されていない植野地区と界地区の南部及び吾妻地区方面を公共交通空白地域と捉えている。また、路線バスはあるものの、バス停や駅から離れた地域も同様。

### 【自家用有償バスの収支状況】

・平成25年度の26.7%をピークに、平成26年度19.7%、平成27年度が18.4%と低下している。  
・平成27年度の収支率は、基幹線30.95%、名水赤見線30.41%、仙波会沢線18.9%、秋山線15.09%、飛駒線11.06%、野上線10.37%、犬伏線6.94%、足利線4.63%。

### 【自家用有償バスとデマンド交通の共存】

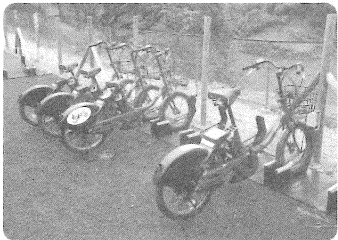
・一般的に、定時制、時刻の正確さの確保が必要な通勤通学については、現在佐野市が行っているような定路線型で、高齢者等の移動手段はドア・ツー・ドアのデマンド交通が適していると言われている。自家用有償バスとデマンド交通を共存させ、利用目的によって使い分ける必要があると考えている。

### 【導入の方向性】

・来年度、地域公共交通網形成計画の策定を予定している。デマンド交通については、その策定の中で路線の再編成とあわせて本市に適した形態を検討していきたい。

## 《観光事業》

宿泊観光の拡大と外国人対応の充実を！



### 【コミュニティサイクルとは】

環境に優しい自転車を用い、公共交通機関と連動した地域交通網であり、観光戦略の推進として全国的に注目を浴びています。

### 【波及効果とニーズ調査、広域連携とモデルコース】

・観光立市を推進する上で重要な視点は、地域経済の活性化である。今後、安価な方法で、本市に必要な情報を、本市に合った形で得られるよう調査していきたい。  
・広域連携は、現在県南地域と両毛地域において文科会や協議会に参画している。今後、さらなる推進に向け、本市が積極的に提案をするなど働きかけをしていきたい。  
・モデルコースは、交通機関、所要時間等きめ細やかにし、佐野の一番を紹介したい。

### 【観光案内板の充実とコミュニティサイクル】

・観光案内板は、国内観光とインバウンド観光に対応すべく、計画的な設置を検討。  
・コミュニティサイクルは、一定の地域を観光する2次交通としては効果的な手段であり、スポット的な観光から周遊する観光に結びつく可能性も十分考えられるので、今後の調査研究課題とさせていただきたい。

## 新聞記事

2016年(平成28年)6月10日(金曜日)

## 下野新聞

### ■観光立市の推進

市は観光立市を掲げて6年経過したが、その施策は大部分が国内の日帰り観光対策となつている。観光立市推進計画によると、市は2017年度に入り込み客数の目標を1千万人としている。そのためには、国内の日帰りの観光だけでなく、宿泊観光を強化するとともに、外国人対応の充実を図る必要がある。

矢沢裕之観光スポーツ部長は「近年、外国人観光が増加している。この好機を逃さず、関係機関と連携を図り、積極的に取り組み、1千万人に近づけるよう推進したい。また、スポーツツーリズム推進により宿泊者数増加も見込まれる。宿泊施設充実とともに、客への対応、おもてなしの充実も重要と考える」と述べた。本郷氏が質問した。

( ご 挨拶 )

皆様には日頃より、温かい御支援を頂き心より御礼申し上げます。平成27年度決算の財政に関する指数は健全であり、行政経営方針を基本に適切に執行されました。今後は、人口減少や合併支援処置の終了など歳入減の厳しい状況が続きます。そのため、事務事業の改革改善、公共施設の見直し、受益者負担の適正化など継続して取り組んで行く必要があります。



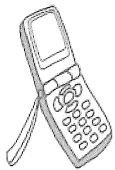
## 平成27年度決算



本郷 淳一 委員

### 決算審査特別委員会の質疑模様

### 【10月1日から防災・気象情報メール運用開始】



佐野市防災・気象情報メールにご登録ください！



佐野ブランドキャラクター さのまる

© 佐野市

登録はこちらから！  
こちらのQRコードを読み取り、  
空メールをお送り下さい！▶▶▶

※QRコードの読取ができない方は  
【佐野市防災・気象情報メール】宛てに  
空メールをお送り下さい。



U-0012

- 皆さんの要望が叶い安全安心が強化されました
- 火災情報・気象情報・防災情報が配信されます
- QRコードから登録をお願いします

全議員で構成された決算審査特別委員会が4日間にわたり開会されました。延べ26名の委員が質疑し、全13議案が原案のとおり認定されました。また、最終日の本会議においても全議案が認定されました。

### 《一般会計》( )は対前年度増減

- ・予算現額 563億0,505万円 (△8億1,278万円)
- ・歳入決算額 547億7,785万円 (20億1,531万円)
- ・歳出決算額 520億1,780万円 (44億4,369万円)
- ・実質収支額 25億0,437万円 (6億2,206万円)
- ・単年度収支額 6億2,207万円 (9億4,078万円)

### 《特別会計》

- ・予算現額 330億2,472万円 (△15億6,328万円)
- ・歳入決算額 330億5,028万円 (△15億3,884万円)
- ・歳出決算額 315億6,517万円 (△19億9,309万円)
- ・実質収支額 14億2,412万円 (4億0,665万円)
- ・単年度収支額 4億0,665万円 (6億3,622万円)

### 《企業会計》

#### 【水道事業会計】

- ・經常利益 3億0,966万円 (1,446万円)
- ・当年度純利益 3億2,669万円 (5,810万円)

#### 【病院事業会計】

- ・經常利益 15万円 (△182万円)
- ・当年度純利益 15万円 (△1万円)

## 《観光立市の推進》



入り込み客数1千万人達成を！

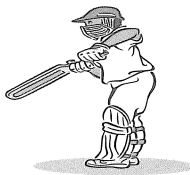
新聞記事

2016年(平成28年)9月8日(木曜日)

下野新聞

ムスリム誘客海外でPR

■ムスリムインバウンド  
市は、積極的にインバウンド観光に取り組み、目標の入り込み客数を1千万人としている。特に、ムスリムインバウンド事業に力を入れていく。今後、いつまでに、誰が、何をどのように進めていくか、具体的な計画が必要だ。矢澤裕之観光スポーツ部長は「市は8月、両毛ムスリムインバウンド推進協議会とジャパンハラルツアーズセンターとの3者で、市へのムスリムツアー実施について基本合意書を締結した。10月にはインドネシアで旅行展が開かれ、11月出発分のツアーが発売される。この旅行展には、市職員を参加させ市をPRするため、本議会に補正予算を上程した」などと述べた。本郷氏が質問した。



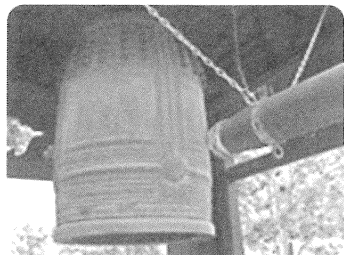
### 【ムスリムインバウンド推進の理由】

・本市はクリケットによるまちづくりを推進しており、クリケットの盛んな南アジア各国の来訪者が年々増加している。イスラム教は世界3大宗教であり、ムスリムは世界人口の4分の1を占め、東南アジア各国においても、クリケットの盛んな国においても、ムスリムの割合が高い。こうした状況を踏まえて、ムスリムの受け入れに秀でた環境を生かし、また、他市町村との差別化を図るため、ムスリムに特化したインバウンドを推進する。

## 《天明鋳物のまちづくり》



漫画で歴史と魅力の認識向上を！



### 【天明鋳物生産用具の国指定重要有形民族文化財への指定化の課題】

- ・生産用具の台帳を始めとする記録化。1300点を超える県指定民族文化財の記録化は相当な作業量が予測される。外部委託やボランティア等体制を整える対策が必要。
- ・生産用具の所在確認調査。現時点では県指定以外の把握ができていないため、全体量や各資料の状態、各所有者の意向などを把握し、今後の方針を検討する。
- ・財源確保となる国の補助事業「文化遺産を生かした地域活性化事業」の採択が不透明。

### 【天明鋳物の漫画化】

- ・本年度、文化振興課に天明鋳物まちづくり係を新設し、佐野市天明鋳物まちづくり推進計画を策定した。今後この計画に基づき天明鋳物を活用したまちづくりを推進する。
- ・千年の歴史を有する天明鋳物を保存し伝承していくには、子どもになじみやすく、わかりやすく説明するのに適した媒体であり、大人も手に取りやすい。天明鋳物の歴史や魅力の認識向上のため、漫画を含め歴史と魅力向上のためのアプローチを検討していく。

## 《AEDの普及促進》



市民と直結した救急体制の構築を！

### 【AEDマップの作成・24時間営業の民間企業への設置促進】

- ・AEDマップを今年度中に作成。町会別に作成したマップをそれぞれの家庭に配布する。24時間営業のコンビニ5カ所、介護施設や工場など19カ所設置。今後もお願いしていく。

### 【バイスタンダーフォローアップ】(感謝の言葉と心的相談連絡先が載ったカードを配布)

- ・バイスタンダーとは、救急現場に居合わせた人のことであり、心のケアの必要性、重要性は十分認識している。今後、先進自治体の取り組み状況を参照し実施の方向で進める。

### 【AED推進部門の消防への移行】

- ・市民の安全安心を確保する観点から、救急体制の環境づくりが重要である。事務事業の整理見直しを図り、消防が十分な活動ができる課題を解決し、主たる部署として調整する。



©NEW KUMETO